

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	17	学校名	宇都宮市立緑が丘小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

平成31(2019)年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

【合言葉】みどりの子 明るく やさしく 根気よく

自分をつくり自立する子 (生きる力)

・ 友達をつくり力を合わせる子 (社会性)

・・・明るく

・ 豊かな心をつくる子 (感受性・主体性)

・・・やさしく

・ 丈夫な体をつくる子 (意欲・気力・体力)

・ 確かな考えをつくる子 (課題解決力)

} ・・・根気よく

2 学校経営の理念

活気あふれる学校、やる気と自己有用感に満ちた児童、信頼される教職員を目指して、教職員が一丸となり、職務に取り組む。

3 学校経営の方針

[陽南地域学校園教育ビジョン]

地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子供の自主的な活動を通して～

(1) 活気あふれる学校

- ・ 校務分掌における取組や家庭・地域との連携を推進し、「教育目標」の具現化を図る。
- ・ 創意ある提案や意見交換により組織力を強め、学校経営への参画意識を高める。
- ・ 社会の変化に対応するため、新たなことに挑戦し、明るく前向きな職場づくりを行う。

(2) やる気と自己有用感に満ちた児童

- ・ 児童の内面を共感的に受け止め、安心して生活できるよう、一人一人を大切にする。
- ・ 児童が集団の中で自分を発揮し、他と協同する体験を重ね、一人一人と集団を育てる。
- ・ 児童のよさや成長を見取り、認め伸ばす指導により、自尊感情、自己肯定感を高める。

(3) 信頼される教職員

- ・ 安全・安心な環境を整え、人権感覚を磨き、服務規律、業務の効率化を確保する。
- ・ 家庭や地域の声を聴き、問題点を速やかに工夫・改善するなど、誠意ある対応をする。
- ・ 情報を積極的に発信し、学校の姿、成果が見える指導を行い、家庭、地域の理解を得る。

4 教育課程編成の方針

- ・ 国、県の法令や指針、市の推進計画、スタンダード、指導の重点などを踏まえ、学校経営方針に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開し、教育目標の達成を期する。
- ・ 社会の変化へ対応できるよう、教育活動相互の関連や地域の教育資源の活用により、基礎的・基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力、表現力等の育成、学ぶ意欲の向上を図る。
- ・ 児童や学校経営に関する各種調査結果を、授業改善や学校改革に生かし、教育活動の見直し、校内外の資源活用など、実態に即した教育課程の編成につなげる。

5 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- 一人一人と集団を育てる教育の実践、組織力・同僚性による効率的な職務の遂行、家庭・地域と一体となった取組の推進などによる、活気のある信頼される学校づくり

(2) 学習指導

- 学び合い、ともに育つ ～主体的・対話的で深い学びを目指して～

(3) 児童生徒指導

- 集団生活の中で決まりを守り、思いやりの心をもって協力して活動できる児童の育成
～ルールやマナーを守り、自他を認め合い、主体的に行動できる児童の育成～

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- ・ 「うつのみや元気っ子健康体力チェック」の結果分析を生かし、年間を通じた体力向上の取組

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・ 相手の気持ちや状況を理解し、共によりよく生きる心情と態度を育てる。
- ・ きまりやマナー、あいさつや言葉づかい、学習態度など、学習規律、生活習慣を形成する。
- ・ 働くことの意義や大切さを理解するとともに、感謝の気持ちを育てる。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ・ みどりっ子集会や清掃などの「縦割り班活動」、保護者の協力を得た「いじめゼロスローガン」、友達のよいところや感謝を伝え合う「人権週間」など、児童主体の取組を推進する。
- ・ 児童会及び地域の参加を得た「あいさつ運動強化週間」、魅力協による「あいさつ標語」の作成及び学校周辺への掲示を行い、見本となる児童に「あいさつ金賞」の表彰をする。
- ・ 学習面、生活面において全校体制で共通実践する内容を「みどりの学び」にまとめ、計画的、継続的に活用し、家庭と連携して指導する。

◇ 児童のキャリア形成に向け、地域の関係機関や企業など講師を招き、双方向的な仕事教室を行い、望ましい勤労観や職業観を育て、将来への希望をもたせるようにする。

- ・ ボランティアへの「感謝の会」や「お年寄りとの交流会」を通して、地域への理解や感謝の気持ちを深めるとともに、地域貢献の芽を養う。

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

教育目標の具現化に向け、学校・家庭・地域が当事者として関わるのが大切であることから、学校へのニーズに地域の支援により応え、学校を共に学び育つ場とする。

② 主な取組

- ・ 魅力協の各種ボランティアの得意分野や専門性を生かし、教育活動を充実する。
- ・ 地域の関係団体と連携し、児童が多様な交流や体験をする機会を確保する。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

9年間を見通した取組を進め、一貫性のある指導及び円滑な接続を図ることが大切であることから、関係職員が協力して、組織的に教育活動に参画する。

② 主な取組

- ・ 道徳性の育成やキャリア形成、体力増強などを意図的、計画的に行う。
- ・ 乗り入れ授業を実施しながら、中学校での学習や生活への期待を高める。

(3) 不登校対策

① 基本的考え

児童の特性や不登校の背景を把握し、多面的に関わるのが大切であることから、複数の職員で児童理解を深め、実情に応じた具体的目標を立てるなど、適切に支援する。

② 主な取組

- ・ 全職員が組織的に児童に関わり、内面理解や不登校の背景を読み取る。
- ・ ケース会議において、指導方針を共通理解し、短期的、長期的な見通しを共有する。
- ・ 保護者へ学校の取組を情報提供し、共に支援するとともに、関係機関と連携する。